

議 事 録

会議名称	令和元年度 第2回 固定資産評価審査委員会
日時及び場所	令和2年3月26日(木) 13:30 ~ 14:30
出席者	固定資産評価審査委員会：3名(委員長、委員2名) 事務局：1名 税務課課長 評価補助員2名(税務課員)
内容	定例会(後期)
<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>【委員長】 本年度は平成30年度評価替と令和3年度評価替の中間年度にあたり、令和元年度固定資産税の課税修正状況、問題点等及び、令和3年度評価替に向けての作業状況等の説明を教示願いたい。</p> <p>【税務課長】 本年は、新型コロナウイルス感染症に関連し、税務においても確定申告期限の延長をはじめとして、今後もさまざまな影響がでてくると思われれます。そのような状況ですが、令和3年度評価替に向けて、適正な評価作業を進めなければなりません。本日は、委員のみなさまに貴重な意見をいただきたく、よろしく申し上げます。</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 令和元年度固定資産税の申し出等による修正状況について</p> <p>【評価補助員】 前回の定例会で第3期分までの修正状況については説明したので省略。 その後の第4期分の修正状況について説明。 課税修正は2件、対象事由は住宅用地特例解除1件ですが、平成30年度に遡及して課税し、2か年分で2件。相続人不明等により課税を保留していたが、調査により現所有者が判明し課税した事由が3件で、過年度遡及して通計11件。</p> <p>(2) 令和2年度固定資産評価状況(見込)について</p> <p>【評価補助員】 土地について令和元年度と令和2年度の地目別筆数、評価地積、評価額、平均価格の増減内容を説明。地籍調査結果による地目変更、地積増減が主な理由。全体として評価額は2.71%の増。</p> <p>【評価補助員】 家屋について令和元年度と令和2年度の木造、非木造別床面積、評価額の増減内容を説明。滅失による床面積の減少、新增築による評価額の増。全体として木造の評価額は2.38%の増、非木造の評価額は1.93%の増。 償却資産について令和元年度と令和2年度の増減内容を説明。町長決定分の課税標準額は減価償却により3.55%の減。</p> <p>《質疑応答》</p> <p>【委員】 雑種地の平均価格が上昇している要因は？</p> <p>【評価補助員】 雑種地は宅地並評価額から原野並まで多種多様であり、昨年中は太陽光発電用地や駐車場など単価の高い土地への地目変更が平均価格を上昇させた要因。</p> <p>【委員長】 農地の認定はどのようになっているか？</p> <p>【評価補助員】 現地確認し、農業委員会の判断と整合しながら行っている。</p> <p>(3) その他</p> <p>【評価補助員】 固定資産税評価・課税事務の年間スケジュールについて説明。 令和3年度評価替えにかかる宅地不動産鑑定評価の中間報告結果について説明。 町内144地点の鑑定評価を行い、内9地点上昇で最高3.56%、6地点が同額、その他は下落で最大15.74%、全地点の単純平均は4.14%の下落。 地籍調査実施地域の説明。 昨年中に登記された区域は、新井、河崎、岩常の宅地、陸上の山林の一部。 地価公示価格について説明。 町内の公示地点は3か所あり、全て下落となっている。</p> <p>4. その他</p> <p>【評価補助員】 令和2年度固定資産評価審査委員会運営研修会への参加について 令和2年6月16日、岡山市内で開催の研修会に参加予定。</p> <p>5. 閉会</p>	